

SBIグループCEO・北尾吉孝の野望

平成17年7月5日発行(隔週火曜日発売)第40巻第13号(通巻802号)昭和45年9月3日第3種郵便物認

経済の新しい風

2005 JULY

7.5

No.802

定価 600yen

# 経済界



北尾吉孝  
SBI GROUP CEO  
ソフトバンク・  
イバーストメント  
CEO

●特集

## SBIグループCEO 北尾吉孝の野望

★独占90分「顧客中心主義でSBIグループ時価総額を5年で5倍の5兆円にする」

●レポート

「家庭用ゲーム機はいらない」任天堂・岩田聰社長の大きな“賭け”

インテックスは携帯向けコンテンツ界で“主役”を取れるか

“2万店構想”を推進するファミリーマートの次の一手

「うちの得意技“シングル市場”を生かし、成長路線復活へ」青井浩丸井社長

【連載】

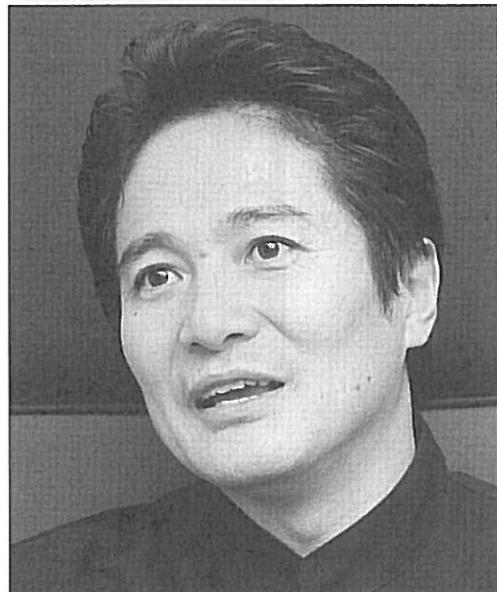
島田晴雄の

企業訪問

第53回

# 21世紀の未来型企業と経営者

## 中原悦夫 クリニーク デュボワ理事長



中原悦夫氏

中原悦夫氏  
4階に停止するようにシステムが改められた。サービスを受けたい人は、上層階の客室から直

東京・内幸町の帝国ホテル隣接する帝国ホテルプラザは、1～4階がブランド店などの商業施設となっている。その4階に、歯科医院の「クリニーク デュボワ」が2003年12月に、エステティックサロン大手の「ゲラン・パリ」も2004年3月開業した。このほか既存のネイルサロンとエステティックサロンを含

用エレベーターは安全確保のために商業施設には止まらないがつたが、2004年3月以降はカードキーで

設が占めるメディカルビューティーフロアとなつた。今後数年間に続々と開業する外資系ホテルを迎え撃つためのサービス強化策の一環という。

### 予防と未病に力点

め、床面積の3割を美容関連施設が占めるメディカルビューティーフロアとなつた。今後数年間に続々と開業する外資系ホテルを迎え撃つためのサービス強化策の一環という。

接施設に通えるようになつた。もちろん宿泊客以外でもサービスを受けられる。

「ホテルの原点はホスピタリティー」という言葉に凝縮されいますが、医療の原点もまた同じだと思います。その延長線で、病院は健康な人が集う場所でもあると考えて、帝国ホテルさんに入ることを提案しました。このホテルは、業界に先駆けていろいろな新機軸を打ち出してきたので、私の考えを受け入れてもらえるのではないかと思ったのです。当初はなかなか受け入れられなかつたですが、次第に“気付き”が生まれ、その後どんどん拍子に話が進みました」

狙いどおり、戦略的誘致企業として位置付けられた経緯を「クリニーク デュボワ」の中原悦夫理事長は説明する。デュ

### 「予防」と「未病」への傾注で究極の審美を追求する

# 21世紀の未来型企業と経営者



「中原さんは単に歯を治すのではなく、『予防』と『未病』の部分に注力されています」(島田)

り、時にはレントゲン室のボタンを操作したりして怒られることもあつたという。

## 米国で審美に開眼

う。それならば、自分が思い描いた理想的な形で患者と向き合いたいと考えた末の中原の決断だった。

こんな中原の“根っこ”的部分は、幼少の時にまでさかのぼる。

父は山口県大島で歯科医を開業していた。大島は瀬戸内海の西端にある大きな島で、島内には数軒の歯科医があつたが、そ

の頃は朝の5時、6時から患者

が並んで待つ時代で、父は夜の9時ごろまで働きづめの日々を送っていた。母は専業主婦だったが、歯科衛生士がないとき

は手伝いをし、毎月1週間くらいはレセプト作成にかかりつき

遊び場になつた。石膏を練つて

いろいろなケースに流し込んだ

中原の頃から診療室や技工室が遊び場になつた。石膏を練つていろいろなケースに流し込んだ

日本歯科大学に進んだ中原だけたが、歯学部の6年間はダイビングやワングルなどのスポーツ遊びに明け暮れた。卒業後、1年間かけてアメリカのタフツ大学歯学部を基点に、ボストン大学、テキサス大学、ペンシルベニア大学、UCLAを歴訪し、当時まだ体系化されていなかつた審美歯科とそのマーケティングを学ぶ傍ら、Kajiji Aso Studio(ボストン美術館大学教授主宰)で美学を学び、医学との融合を模索する。

「タフツ大学のホワイト教授に就いたことが、私の審美歯科への開眼です。今考えると無謀で

すが、私は無資格で医局に入出で、今また中原は新たな取り組みを模索している。

ようやく軌道に乗りつつある中で、今また中原は新たな取り組みを模索している。

かねてから世界中の医療のスタッフの研修や教育を行つてきました。これもひとえにホワイト教授夫妻が配慮してくれた賜物。私は教授の推薦状を手に、全米を飛び回りました。日本に帰國する際、ホワイト教授から『君のために枠を取つたからマスターコースを取つていきなさい』と勧められましたが、自分の本当の師匠は一人ひとりの患者さんだと思い、日本で一日も早く最新の歯科医療を始めたかったので、その言葉を勲章だと思つて日本に戻りました

試行錯誤の末に、帝国ホテル内に開業して1年半が過ぎた。

デュボワとはフランス語で森を意味する。森が持つヒーリングや自然治癒力に託した中原が描く美容歯科の世界は、まさに“21世紀の未来型”と言えよう。

(文中敬称略)

### ●COMPANY PROFILE●

[クリニック デュボワ]  
診療科目●一般・予防・審美・矯正・小児歯科、歯科口腔外  
科。計画診療による自由診療

### ●PERSONAL DATA●

[中原悦夫(なかはら・えつお)]  
1959年山口県生まれ。84年日本歯科大学卒業。87年米国タフツ大学を基点にボストン大、テキサス大、ペンシルバニア大、UCLAを歴訪し、審美歯科およびそのマーケティングを学ぶ。89年審美歯科および予防歯科の専門クリニック「協立歯科」を設立し、審美歯科とオーラルヘルスケアの普及を始める。93年アメリカ美容歯科学会で日本人初の認定会員となる。2003年帝国ホテルプラザにてホテルのスピリチュアリティとホスピタルのヘルスケアの融合を目指し「医療法人社団 協立歯科クリニック デュボワ」を開設。